



立花規矩子名誉教授

# 立花規矩子名誉教授 年譜・著作目録

## 〈年 譜〉

- 1962年 3 月 大阪大学文学部フランス文学科卒業  
1966年 3 月 大阪大学文学部フランス文学科修士課程修了  
1966年 4 月 大阪成蹊女子短期大学非常勤講師（フランス語、1967年 3 月まで）  
1966年 4 月 夙川学院短期大学非常勤講師（フランス語、1967年 3 月まで）  
1967年 4 月 大阪成蹊女子短期大学観光科専任講師（フランス語、1974年 3 月まで）  
1967年 4 月 梅花女子大学兼任講師（フランス語、1974年 3 月まで）  
1973年 7 月 渡仏し、日本フランス語フランス文学会、文部省、仏大使館主催のスター  
ジュに参加。モンペリエ大学、パリ国際教育センターで研修を受ける  
（1973年 9 月まで）  
1974年 4 月 大阪成蹊女子短期大学観光科助教授（フランス語、1983年 3 月まで）  
1976年 4 月 同志社大学兼任講師（フランス語、1988年 3 月まで）  
1976年 4 月 甲南大学兼任講師（フランス語、1977年 3 月まで）  
1976年10月 パリ第Ⅲ大学文学部大学院修士課程修了  
1978年10月 パリ第Ⅲ大学文学部大学院 D.E.A.（博士課程単位）取得  
1981年10月 パリ第Ⅲ大学文学部大学院博士課程（第Ⅲ 課程）修了  
1982年 1 月 文学博士（Doctorat de 3<sup>e</sup> cycle）の学位取得（パリ第Ⅲ 大学 第002270号）  
1983年 4 月 甲南大学非常勤講師（フランス語、1987年 3 月まで）  
1986年 4 月 聖霊学園聖泉短期大学非常勤講師（フランス語、1987年 3 月まで）  
1986年 4 月 同志社女子大学短期大学部非常勤講師（フランス語、1988年 3 月まで）  
1988年 4 月 名古屋外国語大学外国語学部フランス語学科教授（フランス語、フラン  
ス語文法、フランス文化概論、フランス語 LL、フランス語講読、フラン  
ス文学研究、2005年 3 月まで）  
1997年 4 月 名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科修士課程担当  
（国際コミュニケーション総合研究「世界の文学」、フランス文化研究（文  
学）Ⅲ・Ⅳ、記号論、2005年 3 月まで）  
2005年 4 月 名古屋外国語大学名誉教授

## ◇学会及び社会における活動等

- 1965年 4 月 日本フランス語フランス文学会会員（現在に至る）  
1966年 4 月 大阪大学フランス語フランス文学会会員（現在に至る）  
1982年 4 月 日本記号学会会員（現在に至る）  
1982年 5 月 日本フランス語フランス文学会春季大会研究発表  
1983年 4 月 日本記号学会研究発表  
1983年10月 国際カミュ学会会員（現在に至る）  
1988年 4 月 日本フランス語教育学会会員（2005年 3 月まで）

- 1989年 4 月 第 4 回国際記号学会 (Association Internationale de Sémiotique) 大会研究発表  
 1991年 4 月 日本記号学会評議員、学会誌編集委員 (現在に至る)  
 1993年 7 月 国際フランス語フランス文学会 (Association Internationale des Etudes Françaises) 会員 (現在に至る)

## 〈著作目録〉

### ◇学術論文

- 1) Réflexions sur la morale d'Albert Camus 修士論文 大阪大学大学院 1966年 3 月
- 2) Problème de Dieu et vie morale chez Albert Camus 大阪成蹊女子短期大学研究紀要第10号 1973年 7 月
- 3) Analyse formelle du récit *L'Etranger* d'Albert Camus 修士論文 パリ第 III 大学 1976年10月
- 4) Analyse formelle du récit dans *L'Etranger* d'Albert Camus 『GALLIA』第17号 大阪大学フランス語フランス文学会誌 (大阪大学発行) 1976年10月
- 5) Analyse sémantique structurale de l'œuvre d'Albert Camus 『GALLIA』第18号 大阪大学フランス語フランス文学会誌 (大阪大学発行) 1979年 3 月
- 6) Structures et Significations d'œuvre d'Albert Camus 博士論文 パリ第 III 大学 1981年 10月
- 7) Lectures structurales du *Renégat* et de *la Chute* d'Albert Camus 『GALLIA』第21-22号 大阪大学フランス語フランス文学会誌 (大阪大学発行) 1983年 3 月
- 8) 文学における記号現象 (セミオシス) ——カミュの『異邦人』の記号学的読解『記号学研究 3』日本記号学会編 北斗出版 1983年 4 月
- 9) カミュのエクリチュールとシーニュ——『背教徒』と『転落』のテキスト分析『記号学研究 4』日本記号学会編 北斗出版 1984年 6 月
- 10) 夢と文学——アンリ・ミショーのナラトロジー『記号学研究 6』日本記号学会編 北斗出版 1986年11月
- 11) Les signes vides dans le texte Japon 国際記号学会 (AIS) 誌 Signs of Humanity/L'Hommes et ses signes, volume III Mouton de Gruyter, Berlin・New York 1992年 4 月
- 12) シニフィアンをめぐるテキスト分析——ことばと無意識の関係『記号学研究 9』日本記号学会編 東海大学出版会 1989年 5 月
- 13) Structures et significations de *L'Exil et le royaume* d'Albert Camus 名古屋外国語大学紀要第 3 号 1990年10月
- 14) Etude sur la présentation d'Albert Camus dans les Manuels d'histoire littéraire et les recueils de morceaux choisis 名古屋外国語大学紀要第 5 号 1992年 7 月
- 15) Réflexion sur la sémiologie de Roland Barthes — le jeu de signifiants dans les textes la Tour Eiffel et le Japon 名古屋外国語大学紀要第17号 1998年 2 月
- 16) Lecture thématique de deux recueils d'essais, *L'Envers et l'Endroit* et *Noces* — Structure dualiste de l'univers des œuvres du jeune Albert Camus 名古屋外国語大学紀要第19号 1999年 2 月

- 17) Analyse thématique de *L'Eté* d'Albert Camus 名古屋外国語大学紀要第24号 2002年 8 月
- 18) Ecriture du Nouveau Roman dans *Le ravissement de Lol V. Stein* de Marguerite Duras 名古屋外国語大学紀要第28号 2004年 8 月

◇教科書、学会発表等

- 1) *Mes Amis* (共著) 朝日出版社 1973年 4 月
- 2) *Une aussi longue absence* (『かくも長き不在』) (共著) 行人社 1986年 3 月
- 3) HENRI MICHAUX : *PLUME* Coll.. “ARCHIVES” (『プリュームという男』) (共著) 青山社 1988年 4 月
- 4) 「カミュの *La Chute* と *Le Renégat* の構造と意味」〈口頭発表〉日本フランス語フランス文学会春季大会 1982年 5 月
- 5) 「語りの構造 ——カミュの小説を中心に」〈口頭発表〉日本記号学会第 3 回大会 1983年 4 月
- 6) 「Les signes vides dans le texte Japon」〈口頭発表〉第 4 回国際記号学会(AIS)大会 1990年 4 月